



深まる、広がる、税の知識 市内中学生が税の作文各賞を席卷

第57回中学生の「税についての作文」で、市内中学生が全国納税貯蓄組合連合会長賞をはじめ、多数の入賞を果たしました。4人が同時に入賞を果たした片岡中学校では、12月18日に氏家税務署管内納税貯蓄組合連合会長、氏家税務署長、矢板県税事務所長らが出席のもと、各賞の伝達式が行われました。

中学生の「税についての作文」と、小学生の「税に関する絵はがきコンクール」入賞作品は、市役所2階税務課前に11月頃まで掲示される予定です。市役所にお越しの際は、ぜひご覧ください。

2月16日から3月15日までは確定申告の受付期間です。税の申告は忘れなく。

- (左から)
全国納税貯蓄組合連合会 会長賞
松岡 芽愛さん (片岡中3年)
- 栃木県知事賞
大和田 茉央さん (片岡中3年)
- 矢板県税事務所長賞
西岡 穂花さん (片岡中3年)
- 氏家税務署長賞
黒崎 彩奈さん (片岡中3年)



栃木県教育委員会教育長賞
飯村 早稀さん (矢板中3年)



(左から)
氏家税務署管内納税貯蓄組合連合会長賞
佐藤 姫香さん (矢板東高校附属中3年)
氏家税務署長賞
池田 彩那さん (矢板東高校附属中1年)



税務課前に掲示されている小中学生の作品

地域おこし協力隊が活躍！ 企業版ふるさと納税による寄附、続々

ふるさと納税担当の地域おこし協力隊・四十万隊員が架け橋となり、10～12月にかけて、ASTRO Siblings(株)様、(株)ワイズ様から企業版ふるさと納税による寄附をいただきました。

市長とともに感謝状の贈呈に随同行した四十万隊員は、「今後も全国の企業に矢板市を知ってもらい、企業版ふるさと納税をきっかけに市外の企業ともつながり、市の発展に貢献していきたい」と話しました。



(左から) 地域おこし協力隊 四十万隊員、齋藤市長

市民の健康づくりを通じて矢板を元気に ニッセイ宇都宮支社と個別連携協定

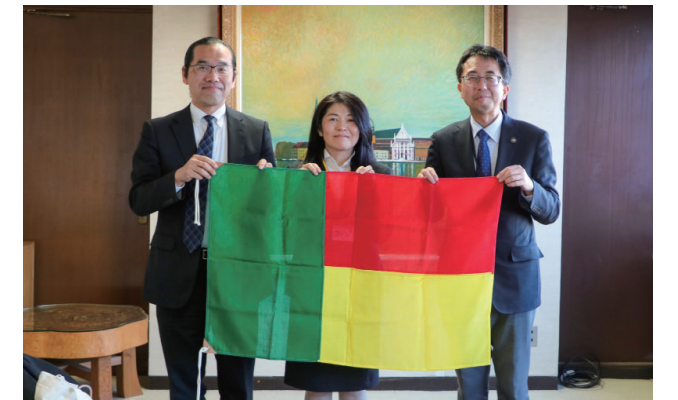
12月25日市役所で、矢板市と日本生命保険相互会社宇都宮支社との個別連携協定締結式が行われました。これは、主に4月にオープンする矢板市文化スポーツ複合施設などでの、市民の健康づくりや生きがいづくりの拠点となる事業を連携して行うことを目的に締結するものです。北村支社長は、「これまで長年培ってきた信頼とともに、健康づくりやスポーツ振興を通じて、地域に貢献していきたい」と話しました。



(左から) 塚原教育長、三堂地副市長、齋藤市長、日本生命保険相互会社宇都宮支社 北村支社長、花田法人部長、山下公務担当部長、前田矢板営業部長 ほか

『世界の子どものために』、想いが結実 保健師の経験を糧に JICA 海外協力隊へ

1月15日、市内在住の具志 梨紗さんが市長を表敬訪問しました。具志さんは、JICA 海外協力隊としてベナン共和国に派遣され、子どもや女性グループが行う活動支援や児童向けプログラムの管理運営の支援などに従事する予定です。具志さんは、「現地では地域に根ざした支援体制を構築し、住民自らが問題解決できるような支援をしたい。また帰国後、矢板市にも還元できるような活動を考えていきたい」と話しました。



(左から) JICA 筑波 柴田次長、JICA 海外協力隊 具志隊員、齋藤市長

地域に根ざす企業を目指して リアン未来基金で、子どもたちの未来を照らす

1月19日市役所で、(株)リアンコーポレーション様からの寄附贈呈式が行われました。これは、社会貢献活動の一環として実施しているリアン未来募金を活用したもので、今年で2度目。本市の繁栄と未来を担う子どもたちの支援を目的としており、寄附金は文化スポーツ複合施設の備品などに使われます。大和田執行役員は「隣接するリアンレッジ矢板との相乗効果で、矢板のさらなる発展につながれば」と話しました。



(左から) 塚原教育長、三堂地副市長、齋藤市長、(株)リアンコーポレーション 井上リフォーム事業部営業課担当、大和田執行役員

新たな県認定女性農業士が誕生 市内女性農業士は5人に

1月9日、栃木県公館において栃木県農業士等の認定式が行われ、土屋在住 八木澤 佐智子さんが知事から女性農業士の認定証書の交付を受けました。八木澤さんは、これまでの農業経営の合理化や就労環境改善の取り組み、地域活動への積極的な参与などが評価され、今回の認定となりました。同日、市長に認定の報告に訪れ、「今後は若い女性農業者の模範となるよう、引き続き努力していきたい」と話しました。



(左から) 八木澤佐智子さん、齋藤市長



子どもたちの心をはっきりキャッチ 大谷翔平選手寄贈グラブが市内各小学校へ

1月9日、市内各小学校で大谷選手のメッセージと寄贈のグラブがお披露目され、子ども達から拍手や歓声があがりました。

後日、泉小学校では体育の授業や昼休みにキャッチボールをする姿が見られ、安沢小学校では児童会で話し合い、仲良く大事に使うためのルールが決まりました。『大谷グラブ』は、子どもたちの心と体の成長にも良い影響を与えているようです。



このグローブは、大谷選手から寄贈されたものです。この機会に、グローブの奇麗なメンテナンスと、貴校の益々のご発展をお祈りし、野球しようぜ。
大谷翔平

新春の風を受け新たな船出 第1回新春矢板たかはらマラソン

1月13日、第1回新春矢板たかはらマラソン大会が運動公園周辺を会場として開催されました。コロナ禍が明け、装いも新たに再スタートを切ったこの大会。当日は、168人の参加者が寒空に映える高原山を仰ぎながら爽やかな汗を流しました。

親子の部の参加者は、「久しぶりの『たかはらマラソン』を子どもと一緒に走れて良い思い出になりました」と話しました。



青空に舞い上がる凧、もちつきに合わせた掛け声 高校生主催イベントで、お正月を大満喫

1月14日旧長井小学校で、高校生団体 YAITA ALL DIRECTIONS (YAD) と矢板東高校生が社長を務める(株)Growが、「学校であそぼう in 旧長井小学校」を開催しました。これは、子どもたちと一緒に正月を楽しみたいという思いで実施されたイベントで、凧作り・書初め・絵馬・ハンドクラフトなどのお正月らしいワークショップのほか、高校生カフェなどが開かれ、たくさんの方でにぎわいました。

参加した地域の方は、「まるで長井小学校が戻ってきたように、にぎわいが戻ってきてうれしい」と笑顔を見せてくれました。



日本の絆 今こそ強く

令和6年 能登半島地震災害義援金を 受付しています。

詳しくはこちら